

2023年度まちづくりネットモニター第2回調査結果
 テーマ「SDGs（エスディージーズ）の関心度について」



SDGsとは、深刻化する地球上の問題を、2030年までにより良くするために、国連で貧困、教育、気候変動など17のゴールと169のより具体的な目標(ターゲット)に集約した世界共通の目標です。

郡山市は「SDGs未来都市」として、様々な分野の人・情報・研究成果などが行き交う「知の結節点」としての強みを生かし、こおりやま広域圏に住むすべての方が「自分ごと」として将来世代のために行動できるようSDGsの達成に取り組んでいます。

市民の皆様方のSDGsへの関心や取組みを把握するとともに、今後のSDGsの推進に向けた参考とするためアンケートを実施しました。その結果についてお知らせします。

(政策開発課)

【調査概要】

- 調査期間 2023年5月22日(月)～5月31日(水) 10日間
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を返信
- モニター数 398名 (男性 172名 女性 226名)
- 回答者数 369名 (男性 158名 女性 211名)
- 回答率 92.7%



郡山市ウェブサイト
SDGs未来都市こおりやま

【分析】

《回答者内訳》

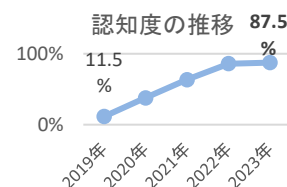
年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	1	5	7	31	42	24	33	14	1	158
女性	1	9	40	65	52	37	7	0	0	211
合計	2	14	47	96	94	61	40	14	1	369

《問1 SDGsをご存知ですか?》

87.5%が「知っている」、11.9%が「聞いたことはあるが内容は知らない」と回答
 認知度は、2019年の調査開始以降、一貫して上昇している。(2019年:11.5%→2023年:87.5%)

《問7 SDGsの達成に向けて誰が主に行動した方が良いと思いますか?》

35.8%が「政府」、27.6%が「自治体」、17.9%が「個人」と回答
 2020年の調査と比較し、「個人」が8.3ポイント高くなっている。



《問9 「こおりやまSDGsアワード」をご存知ですか?》

25.2%が「知っている」、43.1%が「聞いたことはあるが内容は知らない」と回答。
 2020年の調査と比較し、「知っている」が12.7ポイント上昇し約2倍増加している。

《問17 SDGsの取組みを重視した商品について価格が高くても購入しますか?》

29.3%が「10%程度高くても選ぶ」、19.5%が「5%程度高くても選ぶ」と回答。2つの合計(48.8%)が「高いのであれば選ばない」35.8%を超える結果となった。

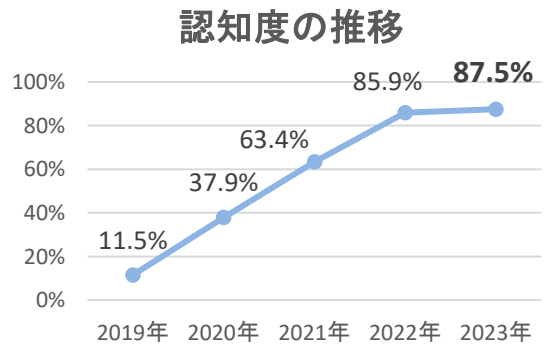
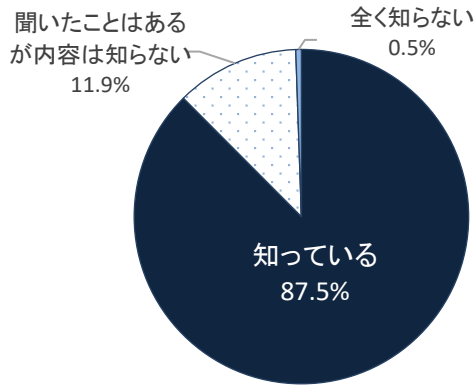
【考察】

- ・ 認知度の上昇に加え、SDGsの達成に向けて「個人」が主に行動すべきと回答した割合が増加傾向にあり、SDGsを「自分ごと」として考える人が徐々にではあるが増えていると考えられる。
- ・ SDGs達成に取り組む市民、団体、企業等を表彰する「こおりやまSDGsアワード」の認知度が2020年と比べ2倍に増加している。市の広報紙や新聞広告に受賞団体の取組みを掲載しPRした効果と思われる。
- ・ SDGsの取組みを重視した商品の購入について、約半数の人が「5%程度高くても選ぶ」または「10%程度高くても選ぶ」と回答しており、経済的な負担が大きくない範囲であれば、SDGsの取組みを重視した商品が積極的に選ばれる傾向にある。

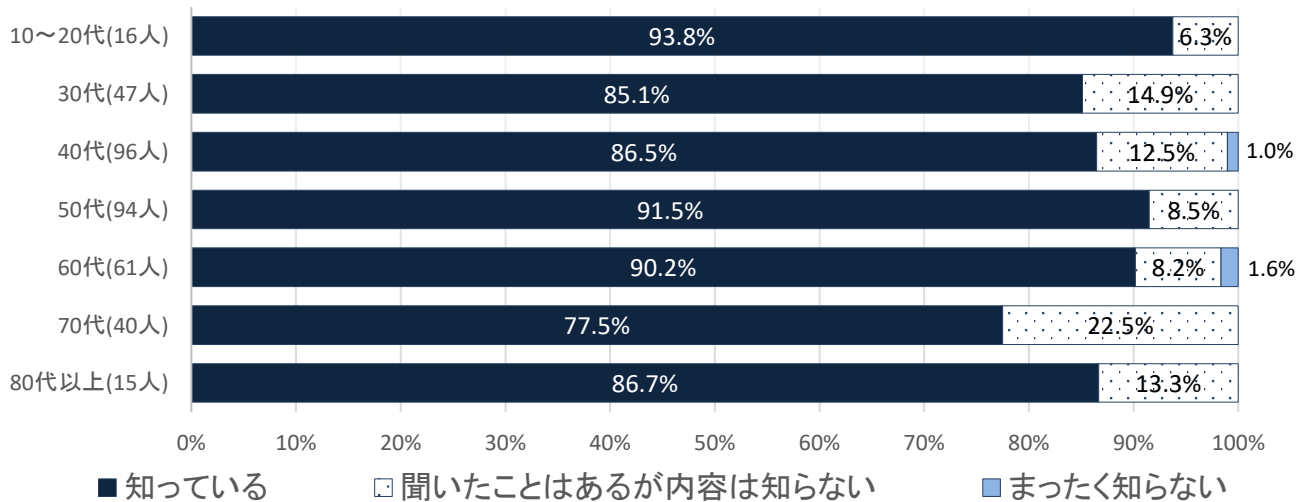
※割合(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 ※10代及び90代は回答者が少ないため、10代は「10～20代」、90代は「80代以上」としてまとめています。

第1章 SDGsの認知度について

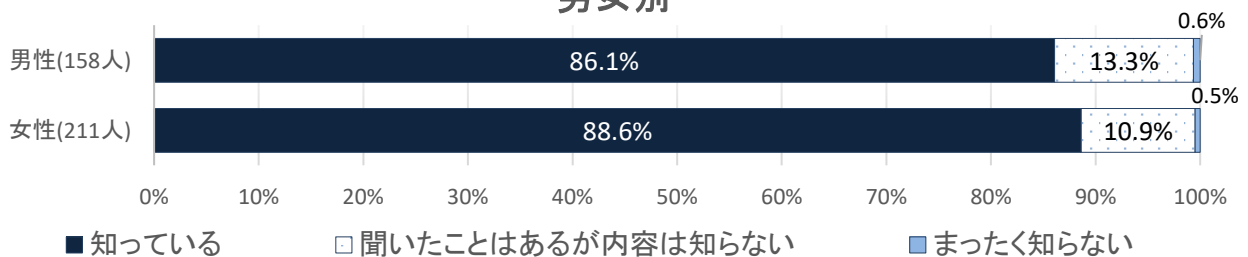
問1 SDGs（エスディーゼズ）をご存知ですか？（1つ選択）（回答者：369人）



年代別



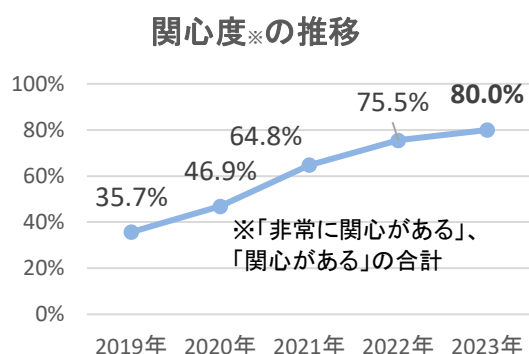
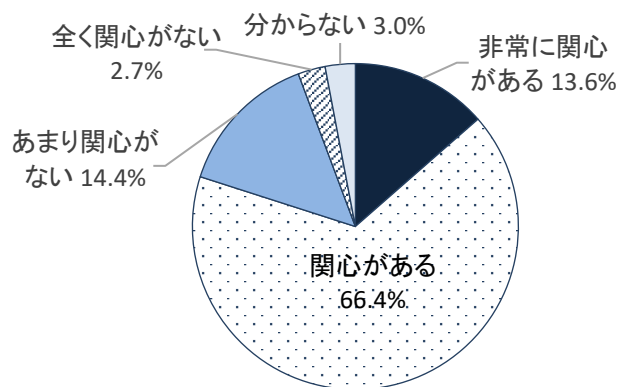
男女別



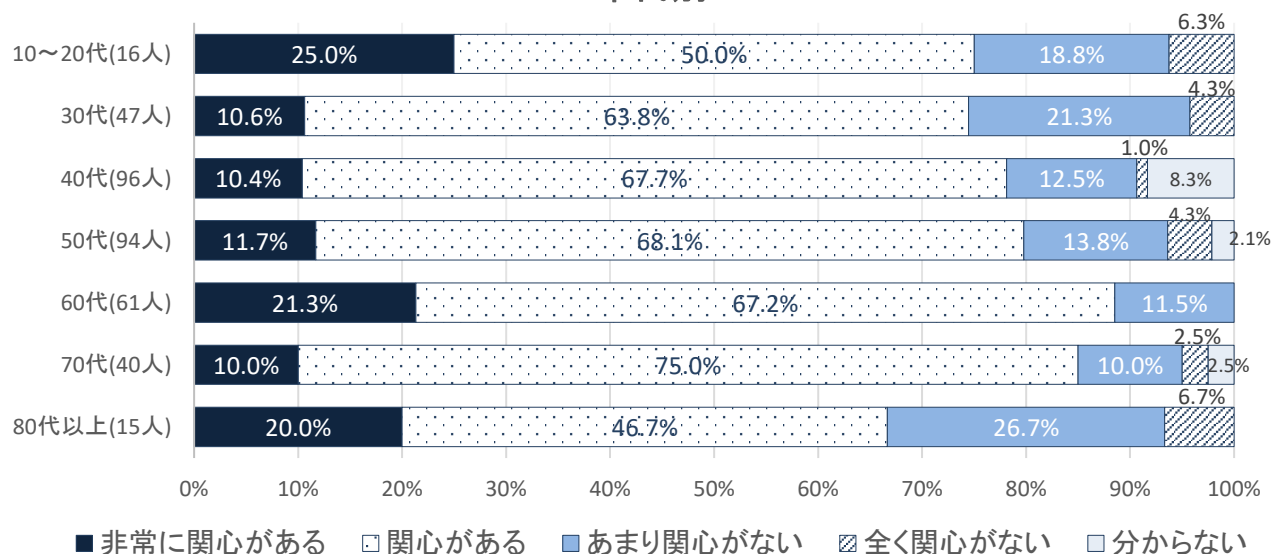
SDGsの認知度について、「知っている」と答えた割合は全体の87.5%。前回調査と比べると、認知度(知っている)は1.6ポイント上昇している。昨年時点で、認知度は85.9%とSDGsが広く浸透しているため、これまでと比べると認知度の伸び率は低くなっている。年代別、男女別で認知度に大きな差はない。

問2 SDGsについてどの程度関心がありますか？
(1つ選択)

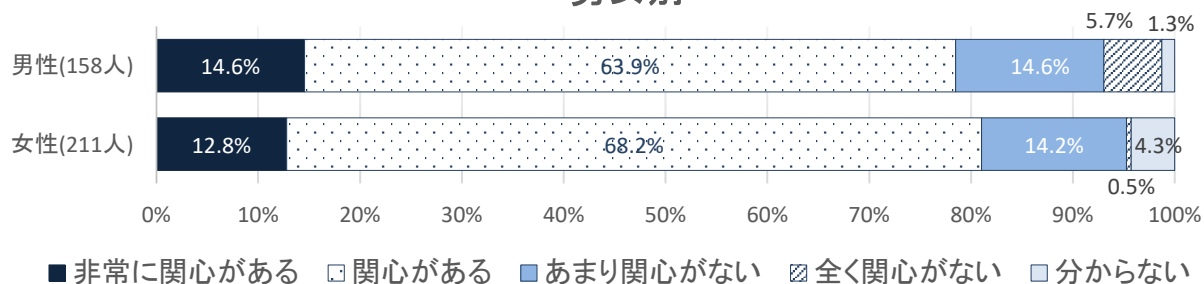
(回答者：369人)



年代別



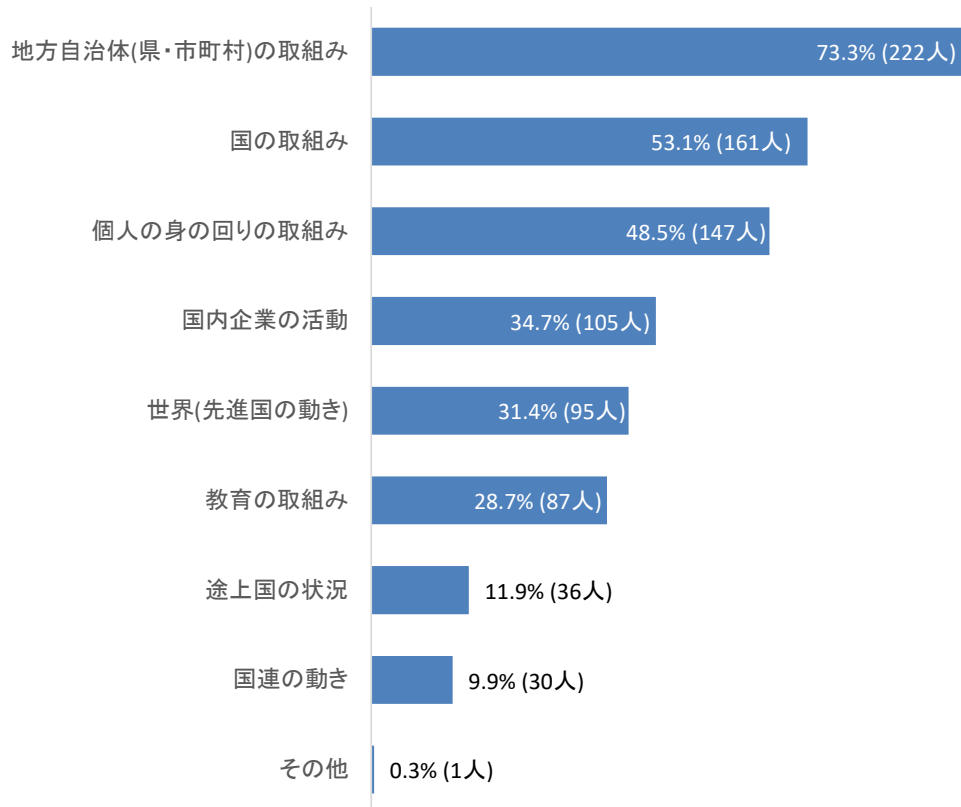
男女別



全体では、「非常に関心がある」と「関心がある」の合計の割合は計80.0%。前回調査と比べ、関心度は4.5ポイント高くなっている。認知度と同様に、関心度の伸び率はこれまでと比べると小さくなっている。
年代別、男女別で関心度に大きな差はない。

問3 SDGsに関するどのような活動に興味がありますか？
(3つまで選択)

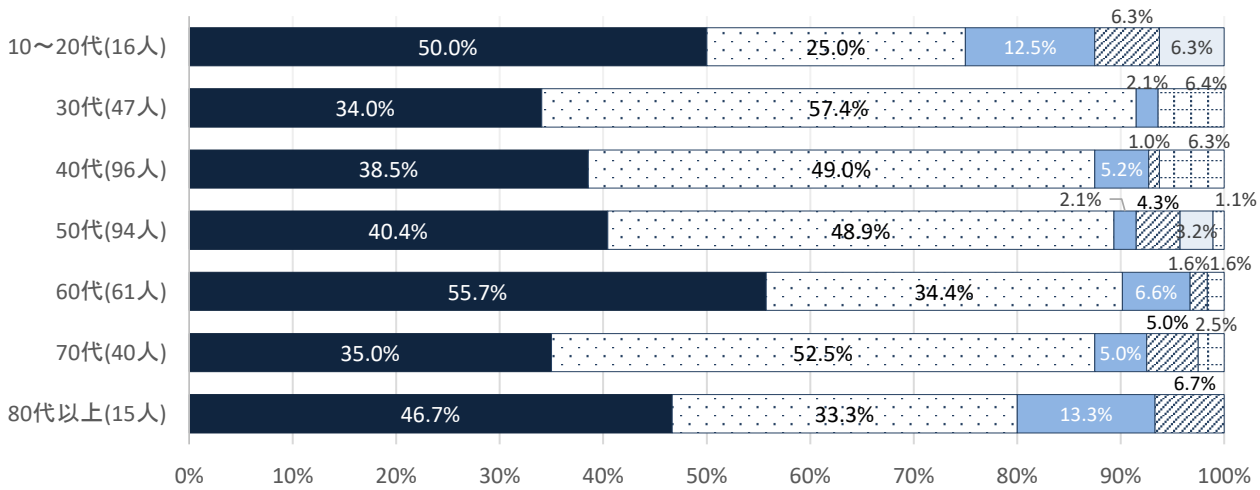
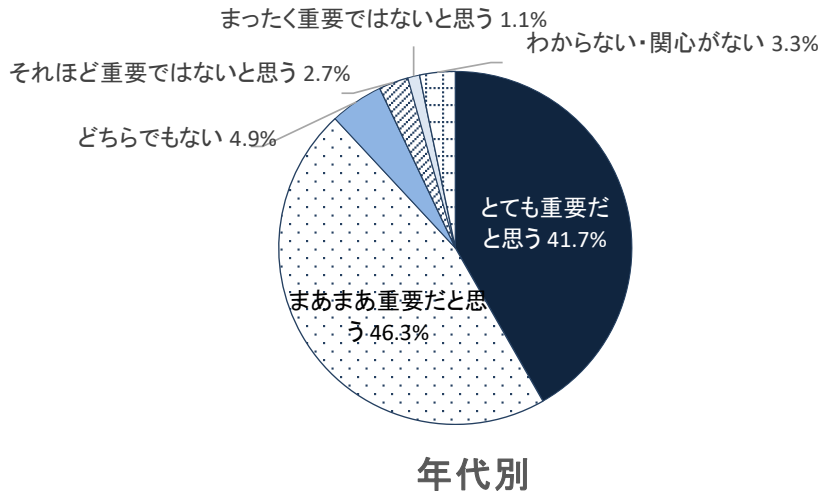
(回答者：303人)



SDGsに関する活動の興味について、「地方自治体(県・市町村)の取組み」、「国の取組み」といった国内の取組みに興味がある割合が高い。一方で、「途上国の状況」や「国連の動き」といった国外の活動には興味が高い傾向にある。

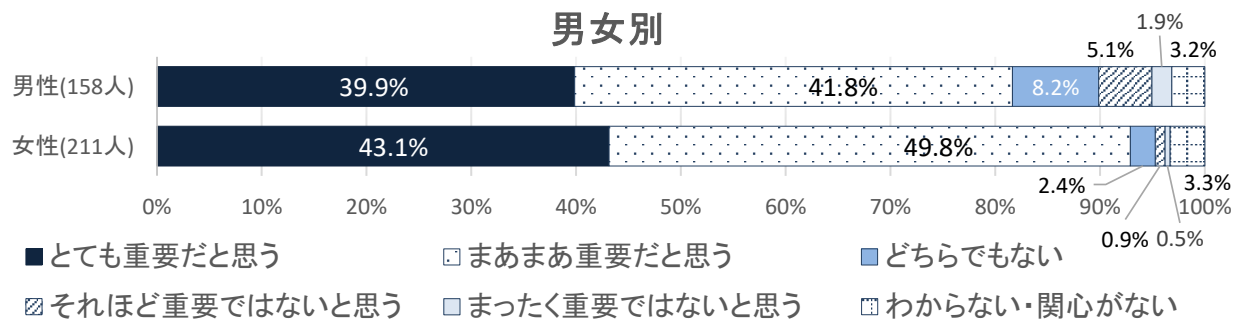
問4 SDGsは重要だと思いますか？（1つ選択）

（回答者：369人）



- とても重要だと思う
- まあまあ重要だと思う
- どちらでもない
- ▨ それほど重要ではないと思う
- まったく重要ではないと思う
- ▨ わからない・関心がない

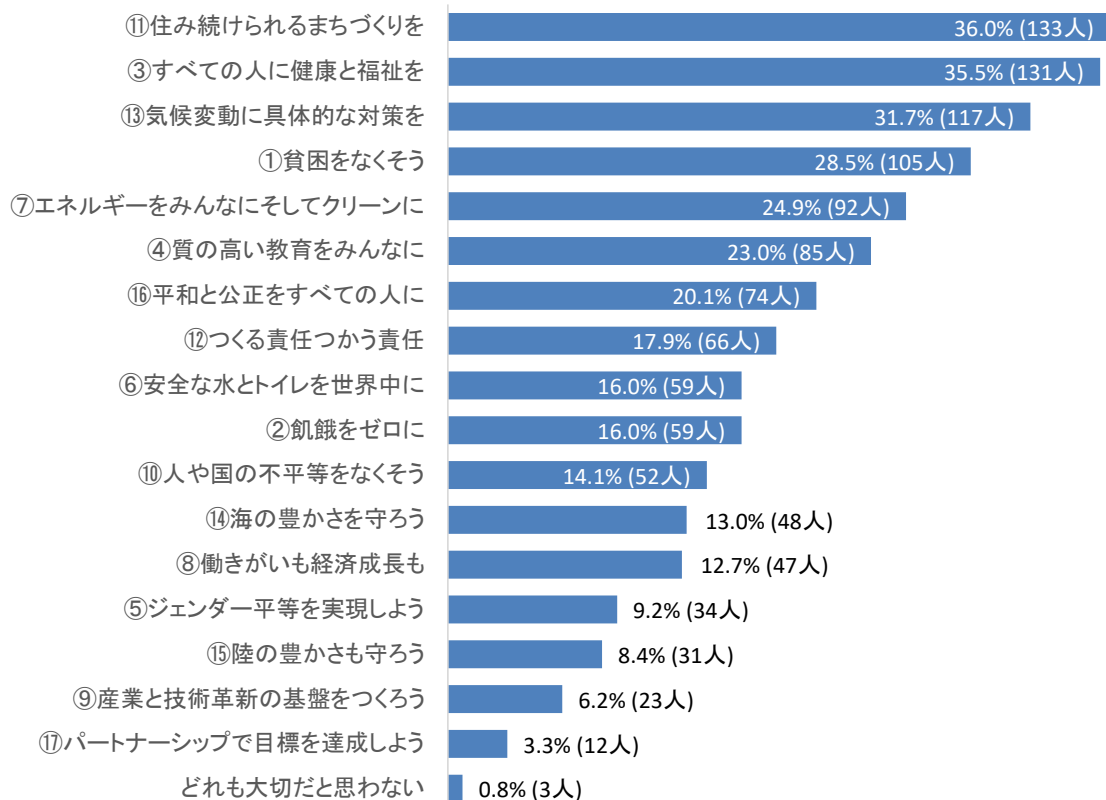
男 女 別



全体では、「とても重要だと思う」と「まあまあ重要だと思う」の合計の割合は計88.0%、「それほど重要ではないと思う」と「まったく重要ではないと思う」の合計の割合は計3.8%となっており、SDGsは重要だと考える人が約9割を占めている。
男女別では、男性よりも女性がSDGsは重要だと考えている傾向にある。

問5 SDGsの17の目標のうち、特に大切だと思う(関心がある目標)は何ですか？
(3つ選択)

(回答者：369人)

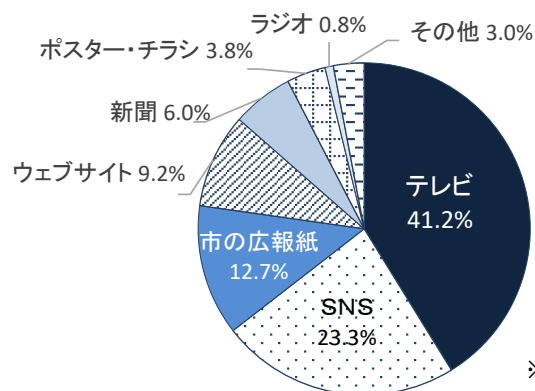


2023年得票数上位トップ5の過去の順位

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
⑪住み続けられるまちづくりを	2位	2位	2位	3位	1位
③すべての人に健康と福祉を	1位	1位	1位	1位	2位
⑬気候変動に具体的な対策を	10位	5位	4位	2位	3位
①貧困をなくそう	4位	4位	3位	4位	4位
⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9位	6位	5位	5位	5位

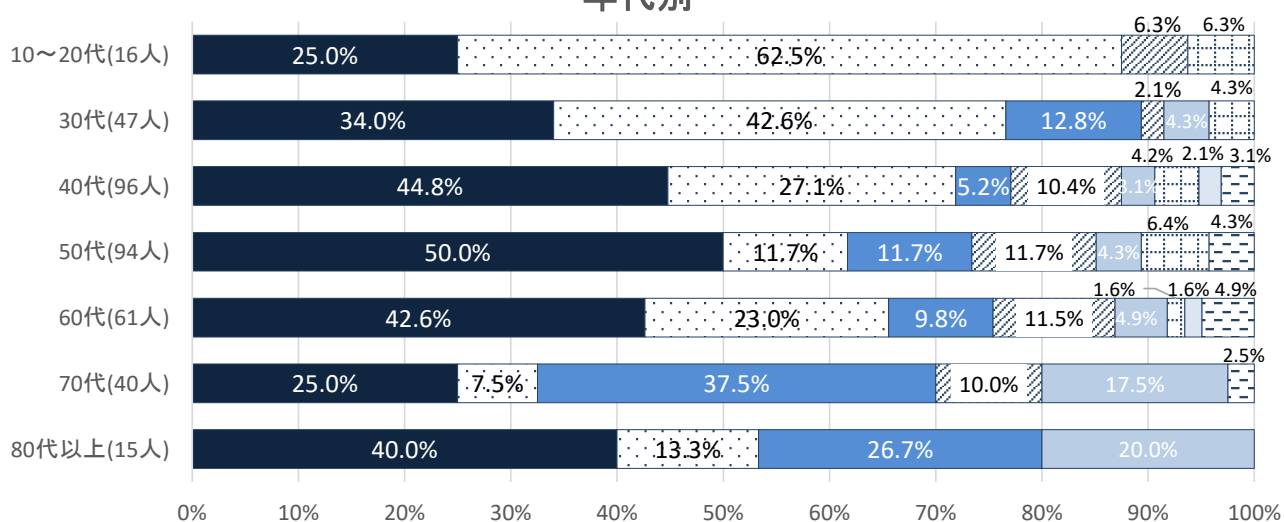
「⑪住み続けられるまちづくりを」が最も多く、次いで「③すべての人に健康と福祉を」となっている。
ここ3年間の調査結果をみると、順位に多少の変動はあるものの、得票数上位5つに変わりはない。

問6 SDGsの達成につながる行動を促すためには、どのような方法によるPRが最も効果的だと思いますか？（1つ選択）
（回答者：369人）



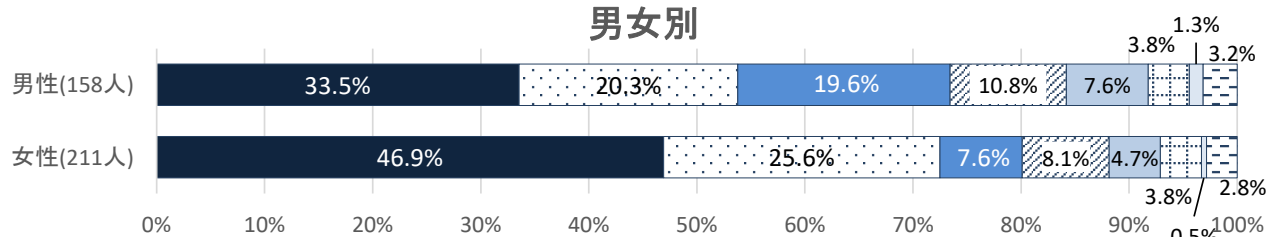
※SNS：Facebook、LINE、Twitterなど

年代別



■テレビ □SNS ■市の広報紙 ▨ウェブサイト ■新聞 □ポスター・チラシ □ラジオ □その他

男女別

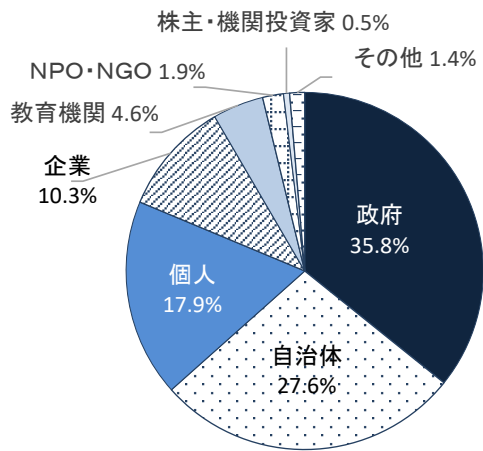


■テレビ □SNS ■市の広報紙 ▨ウェブサイト ■新聞 □ポスター・チラシ □ラジオ □その他

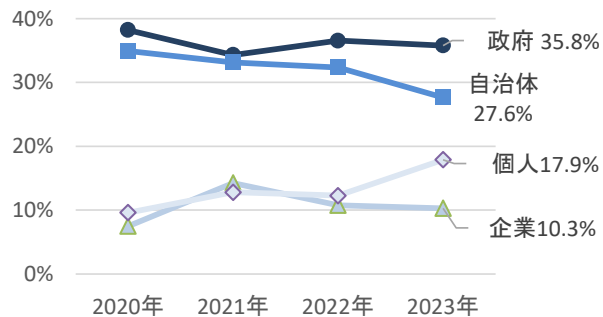
全体では、「テレビ」の割合が41.2%と最も高く、次いで「SNS」23.3%、「市の広報紙」12.7%となっている。
年代別では、若い年代では「SNS」の割合が比較的高く、70代以上では「市の広報紙」と「新聞」の合計が約5割を占めた。
男女別では、男性は「市の広報紙」の割合が女性に比べて高く、女性は「テレビ」や「SNS」の割合が男性に比べて高い。

第2章 SDGsに関する取組みについて

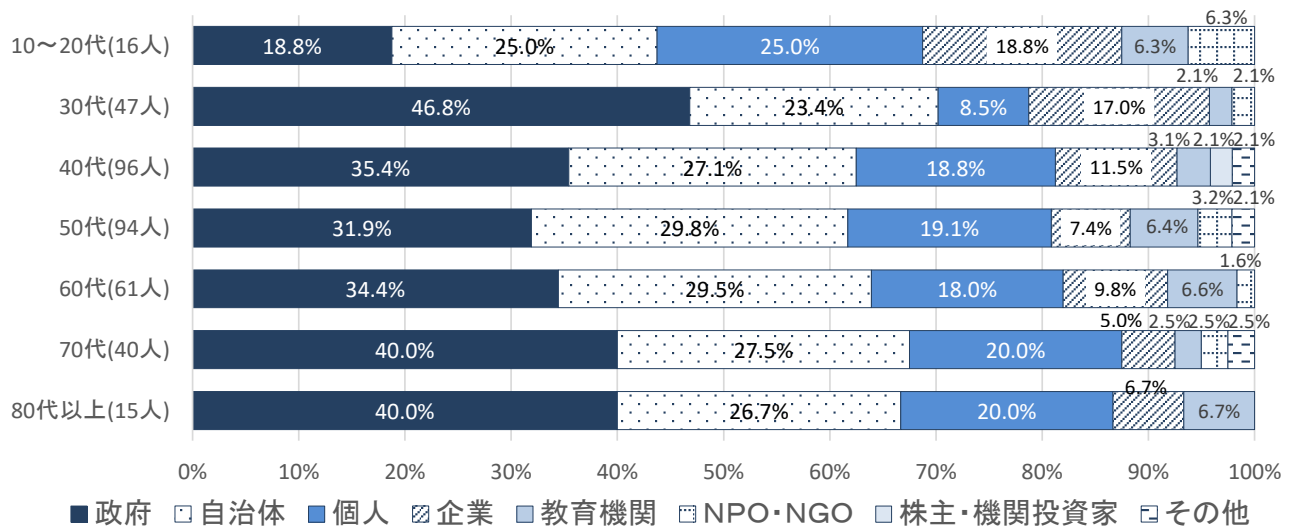
問7 SDGsの達成に向けて、誰が主に行動したほうが良いと思いますか？（1つ選択）
（回答者：369人）



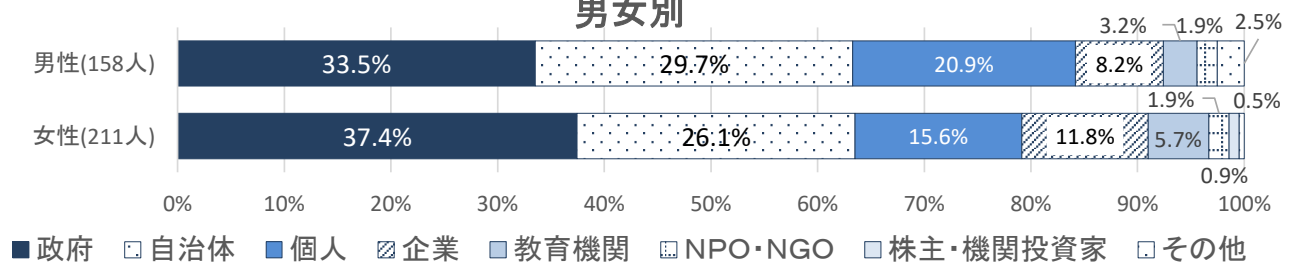
調査結果の推移(上位4項目)



年代別



男女別



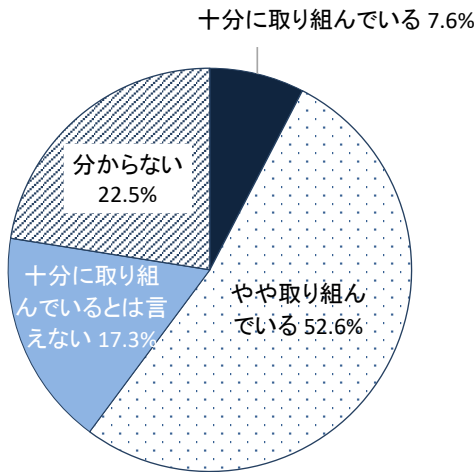
※「その他」を選択した方の主な意見

・影響力のある方。政治家、芸能人、インフルエンサーなど

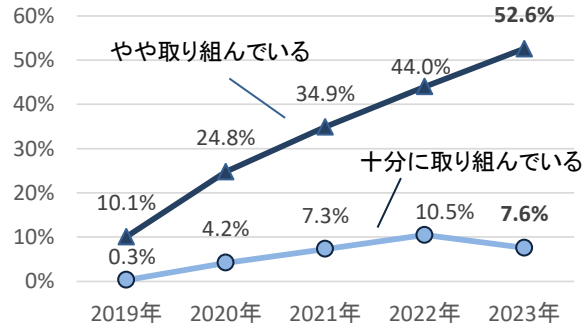
全体では、「政府」と「自治体」の割合が高く、合計で約6割を占めており、行政が主に行動するべきと考える人が多いことが分かる。一方で過去の調査結果の推移をみると、「政府」は横ばい、「自治体」は減少傾向にあるのに対し、「個人」が上昇傾向にある。

問8 郡山市のSDGsへの取り組みについてはどう思いますか？（1つ選択）

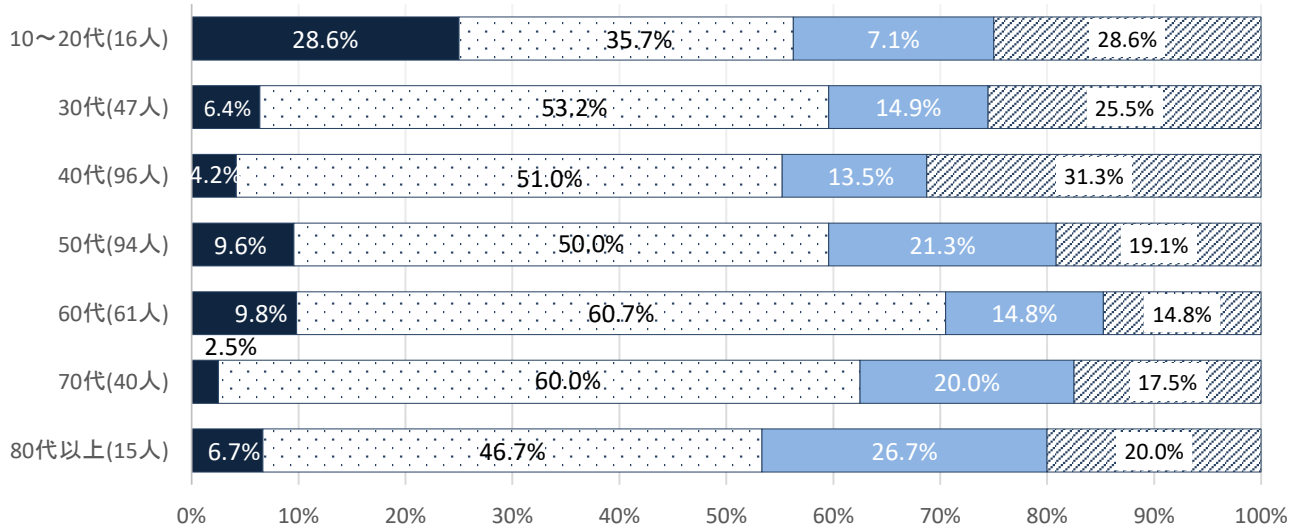
（回答者：369人）



調査結果の推移

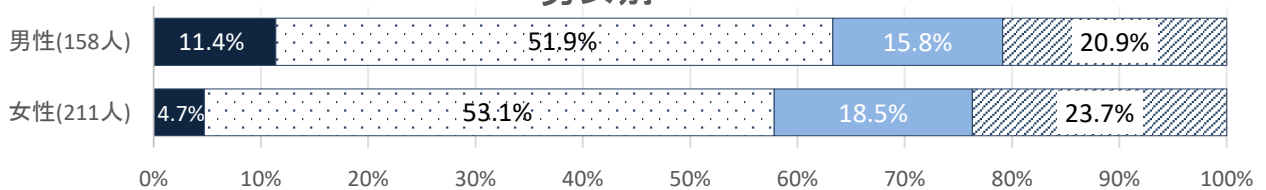


年代別



■十分にに取り組んでいる □やや取り組んでいる ■十分に取り組んでいるとは思えない ▨分からない

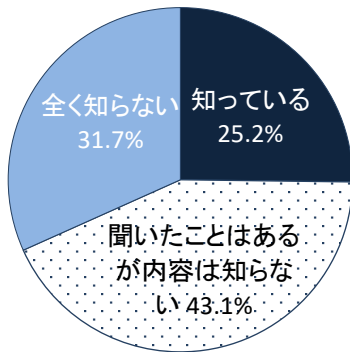
男女別



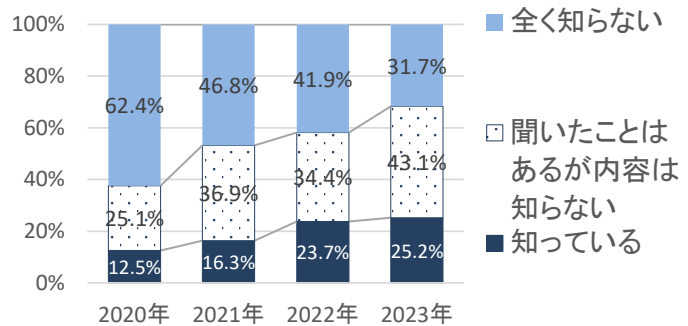
■十分にに取り組んでいる □やや取り組んでいる ■十分に取り組んでいるとは思えない ▨分からない

全体では「やや取り組んでいる」が最も高い割合を占めている。前回調査と比べると、「十分にに取り組んでいる」は2.9ポイント低下し、「やや取り組んでいる」は8.6ポイント上昇している。
年代別でみると、10～20代において、「十分にに取り組んでいる」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

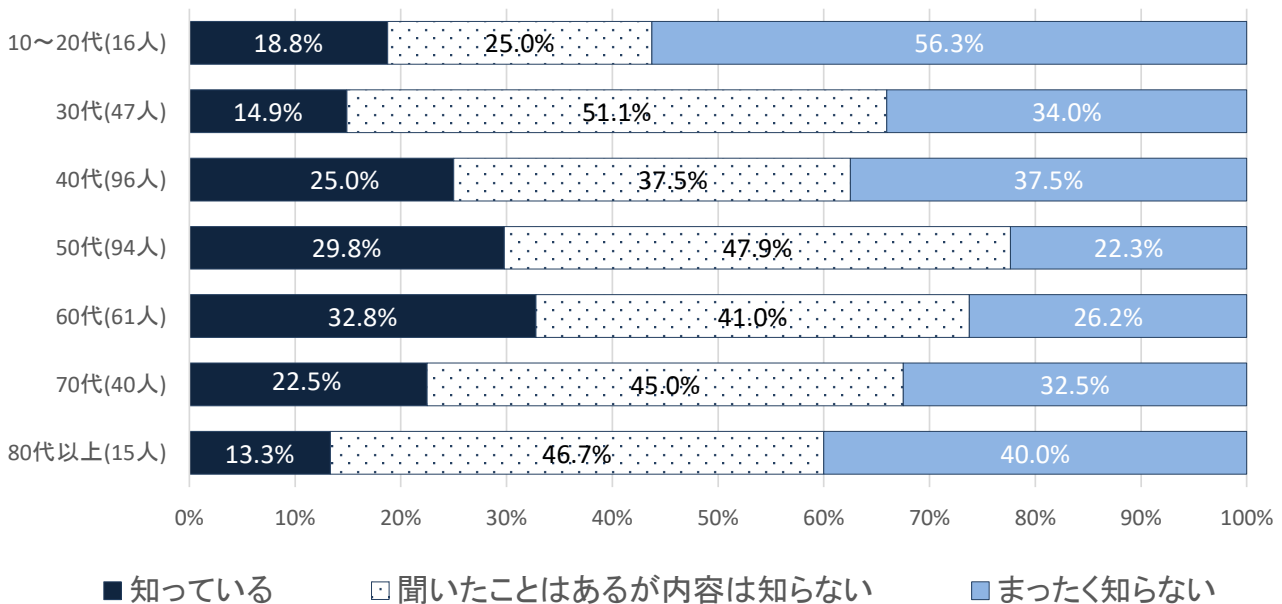
問9 こおりやま広域圏内において、「SDGs体感未来都市」の実現に向け、特に優れた取り組みを進めている市民、団体等を表彰する「こおりやまSDGsアワード」をご存知ですか？（1つ選択）
（回答者：369人）



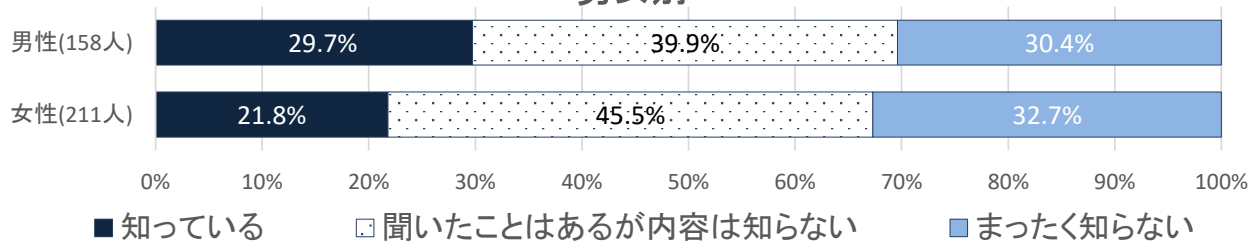
調査結果の推移



年代別



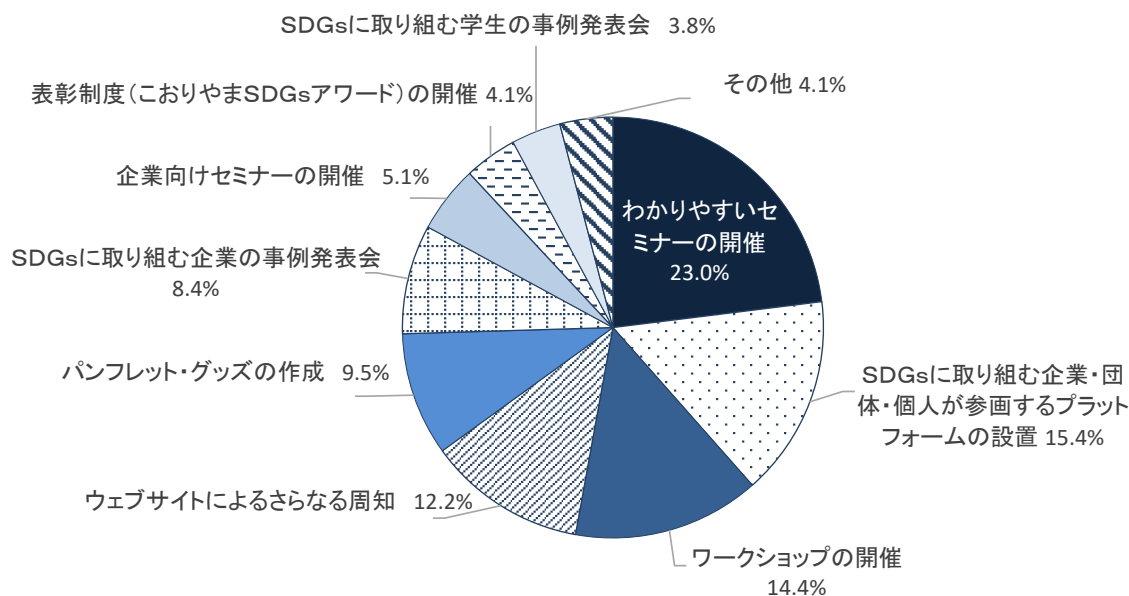
男女別



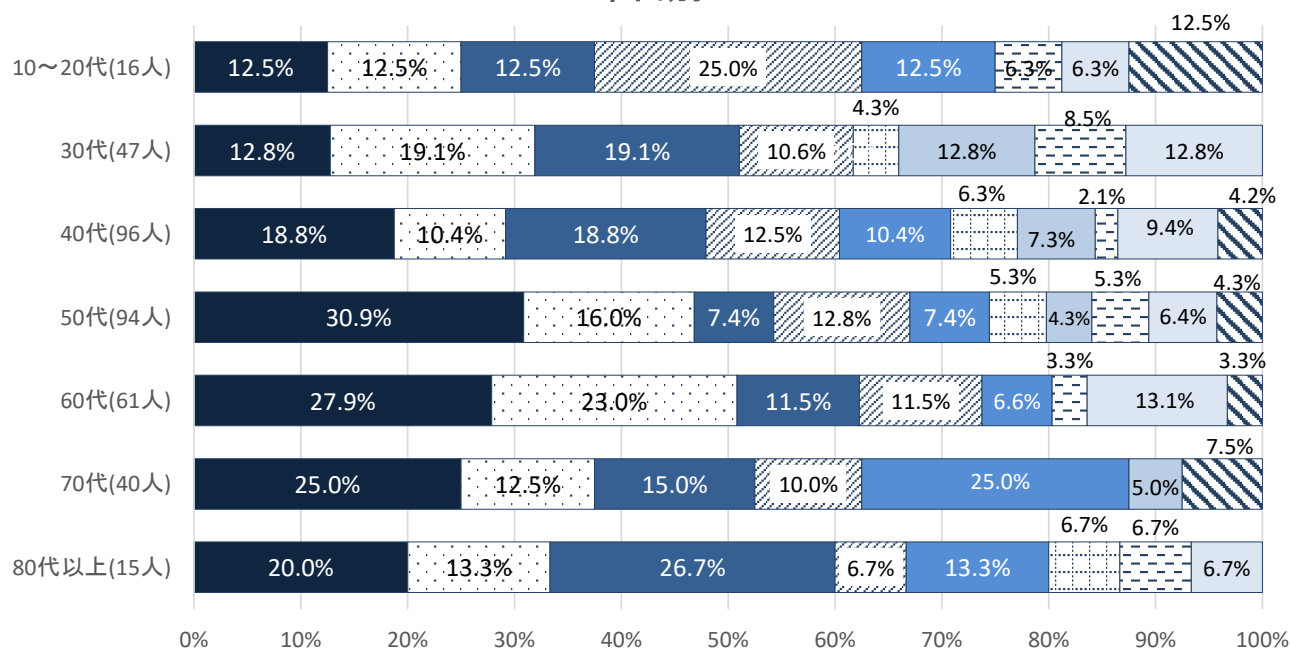
「こおりやまSDGsアワード」の認知度について、「知っている」割合は25.2%。「知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」の割合は年々上昇しており、市の広報や新聞広告により「こおりやまSDGsアワード」を積極的にPRした効果と思われる。

問 10 SDGsの達成に向けて、郡山市に特に取り組んで欲しいことは何ですか？
(1つ選択)

(回答者：369人)

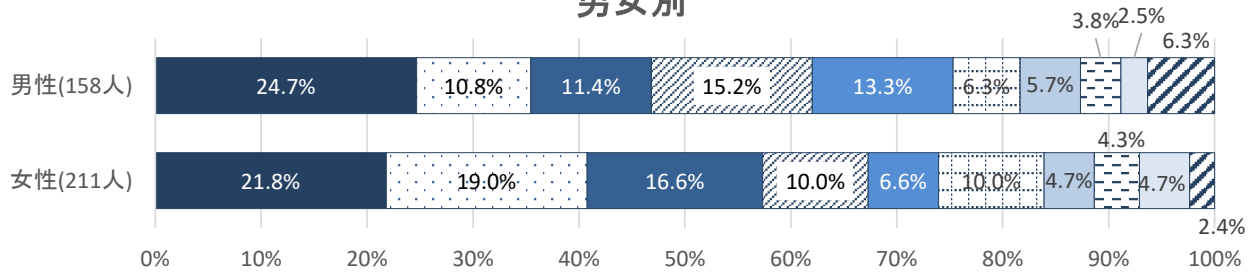


年代別



- わかりやすいセミナーの開催
- SDGsに取り組む企業・団体・個人が参画するプラットフォームの設置
- ワorkshopの開催
- ▨ ウェブサイトによるさらなる周知
- パンフレット・グッズの作成
- ▨ SDGsに取り組む学生の事例発表会
- 企業向けセミナーの開催
- ▨ 表彰制度(こおりやまSDGsアワード)の開催
- ▨ SDGsに取り組む企業の事例発表会
- ▨ その他

男女別



- わかりやすいセミナーの開催
- SDGsに取り組む企業・団体・個人が参画するプラットフォームの設置
- ワークショップの開催
- ▨ ウェブサイトによるさらなる周知
- パンフレット・グッズの作成
- ▨ SDGsに取り組む企業の事例発表会
- 企業向けセミナーの開催
- ▨ 表彰制度(こおりやまSDGsアワード)の開催
- SDGsに取り組む学生の事例発表会
- ▨ その他

※「その他」を選択した方の主な意見

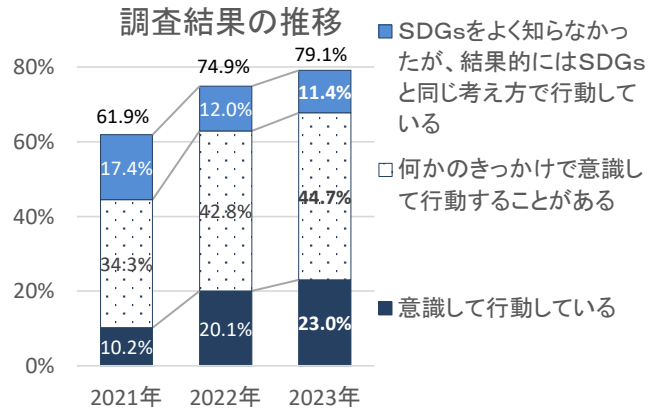
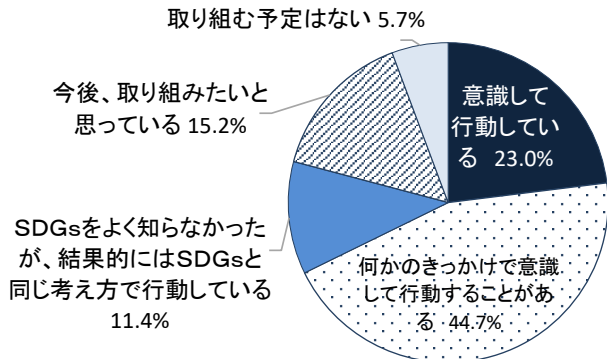
- ・環境保全のため、ゴミの分別の促進
- ・取り組んでる人・団体の支援
- ・住み続けられる街づくりとして公共交通機関の充実を凶って頂きたい

「わかりやすいセミナーの開催」が23.0%と最多で、次いで、「SDGsに取り組む企業・団体・個人が参画するプラットフォームの設置」が15.4%となっている。
男女別でみると、女性は「SDGsに取り組む企業・団体・個人が参画するプラットフォームの設置」の割合が男性に比べて高く、男性は「パンフレット・グッズの作成」の割合が女性に比べて高い。

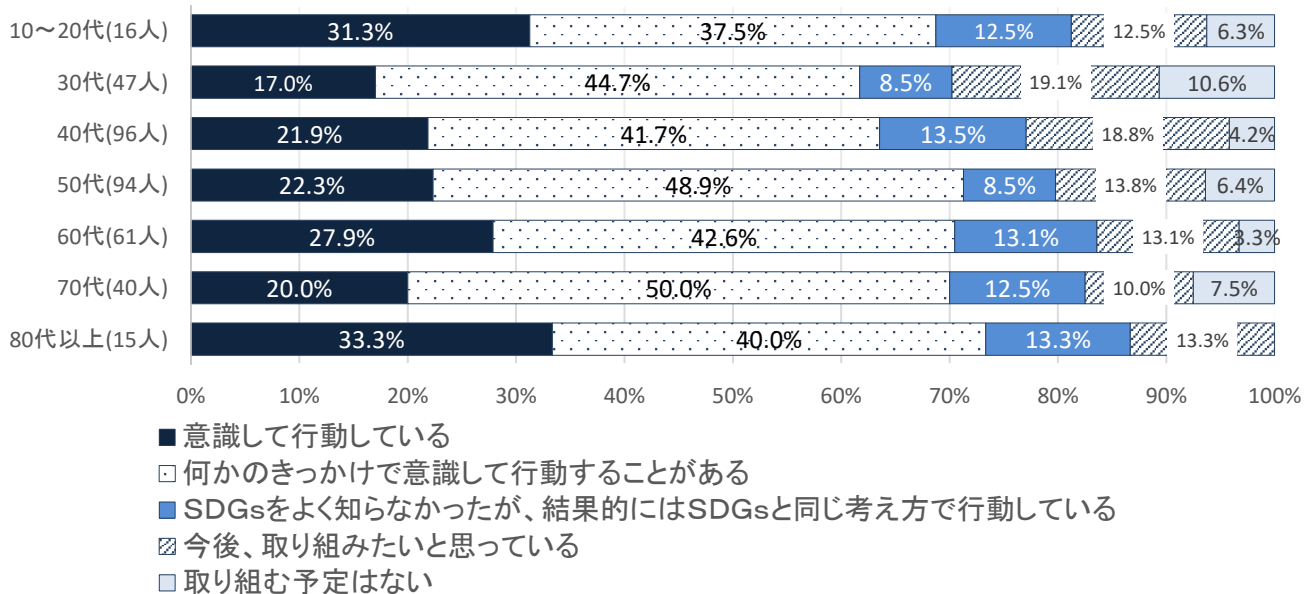
第3章 みんなの取組みについて

問11 日常生活においてSDGsを意識して行動していますか？（1つ選択）

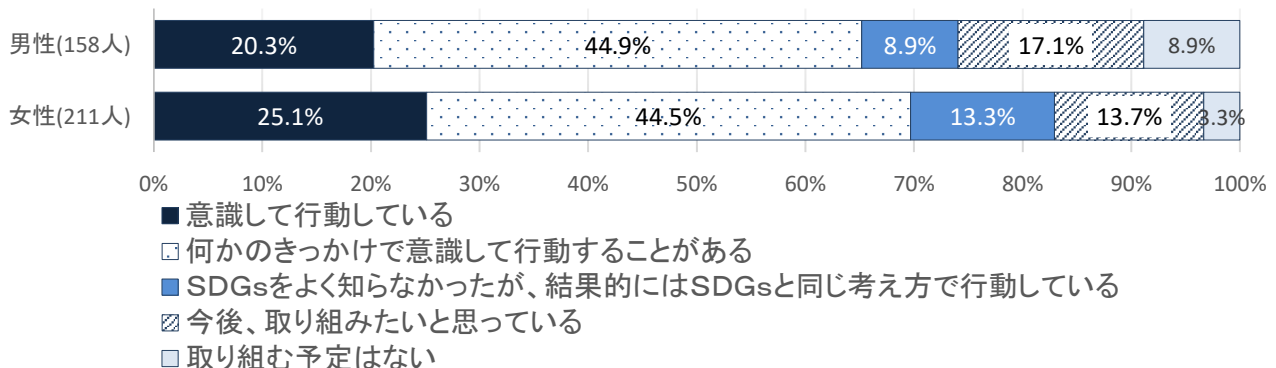
（回答者：369人）



年代別



男女別



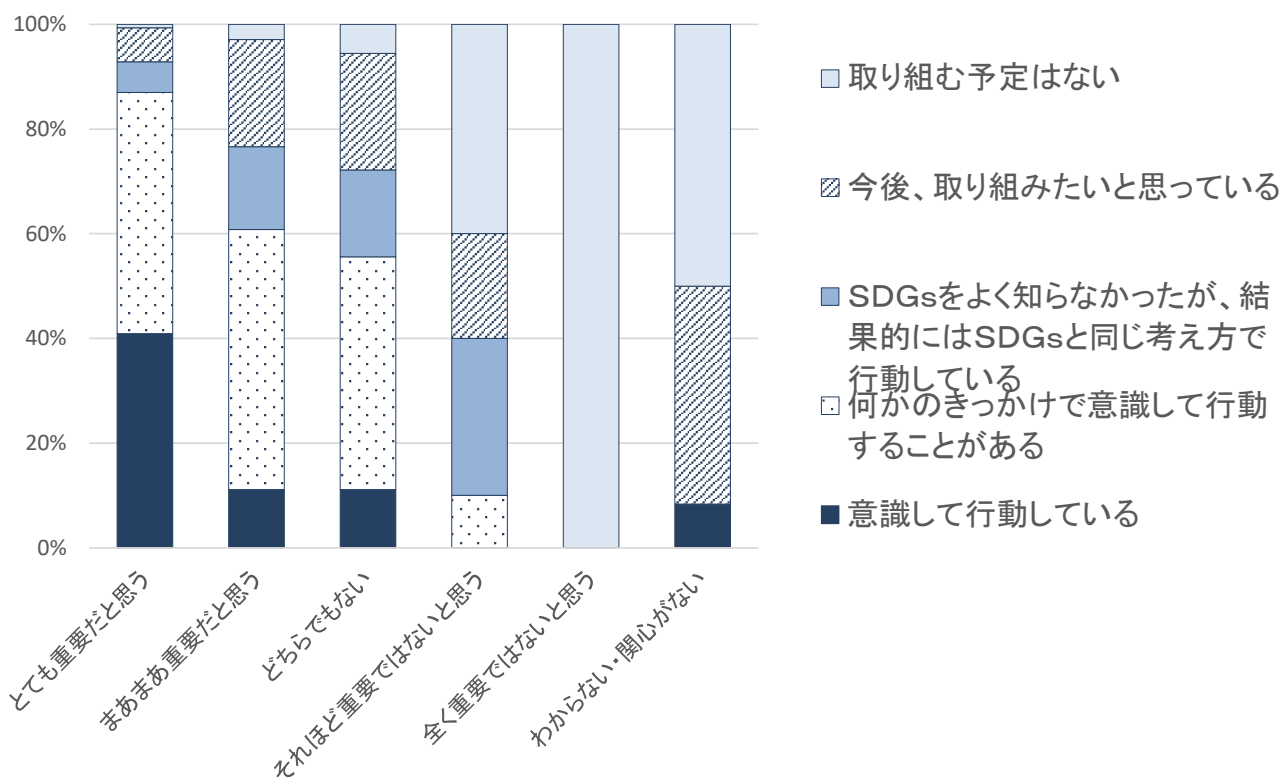
調査結果の推移をみると、「意識して行動している」「何かのきっかけで意識して行動している」の割合が上昇傾向にあり、年々、SDGsを意識して行動する人が増加していることがわかる。また、「今後取り組みたいと思っている」が15.2%と一定数存在し、この層に働きかける必要がある。

年代別、男女別では大きな差はみられない。

SDGsへの認識と日常の行動の相関関係(問11×問4)

→問11の回答結果を問4「SDGsは重要だと思いますか？」の回答別で比較しました

問4「SDGsは重要だと思いますか？」の回答別

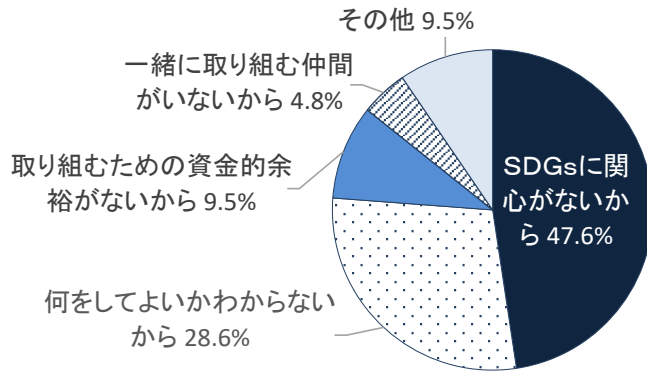


SDGsを重要だと考えている人ほど日常生活でSDGsを「意識して行動している」、「意識して行動することがある」の割合が高い。一方で、SDGsを重要だと考えていない人は、日常生活でSDGsを「意識して行動している」、「意識して行動することがある」の割合は低く、「取り組む予定はない」の割合が高い。

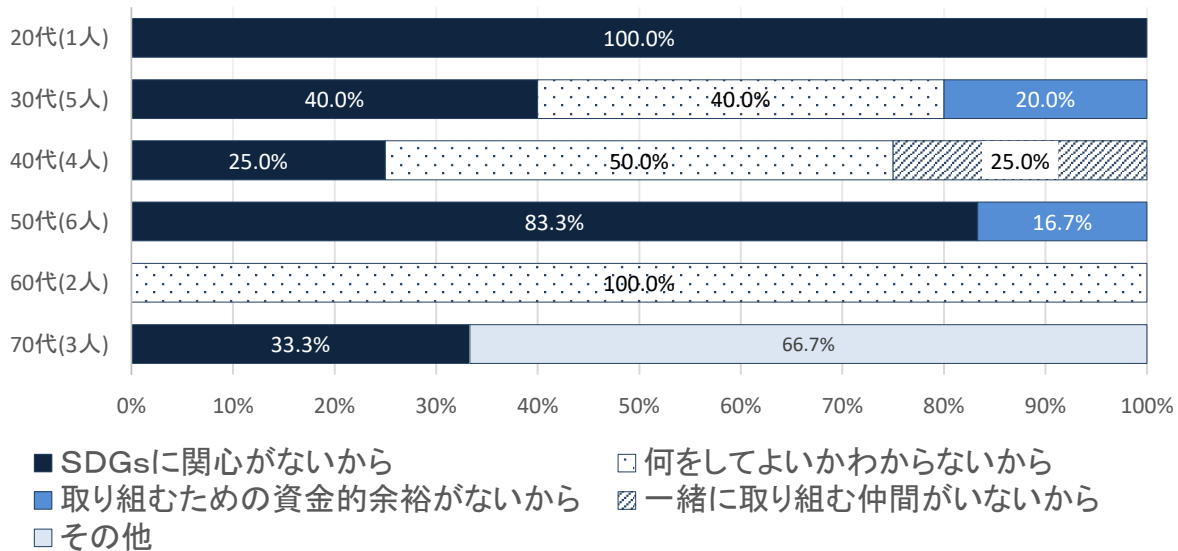
SDGsの重要性を周知・啓発することは、日常生活におけるSDGs達成に向けた取組みの推進につながる。

問 12 問11で「取り組む予定はない」を選択した方にお伺いします。その理由は何ですか？(1つ選択)

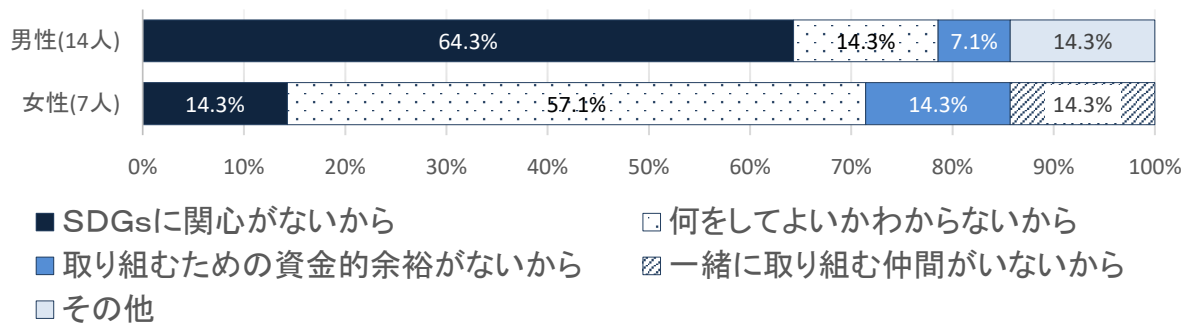
(回答者：21人)



年代別



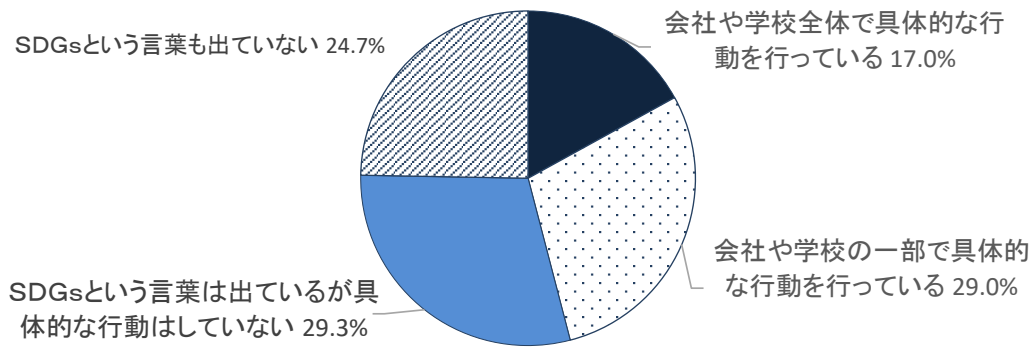
男女別



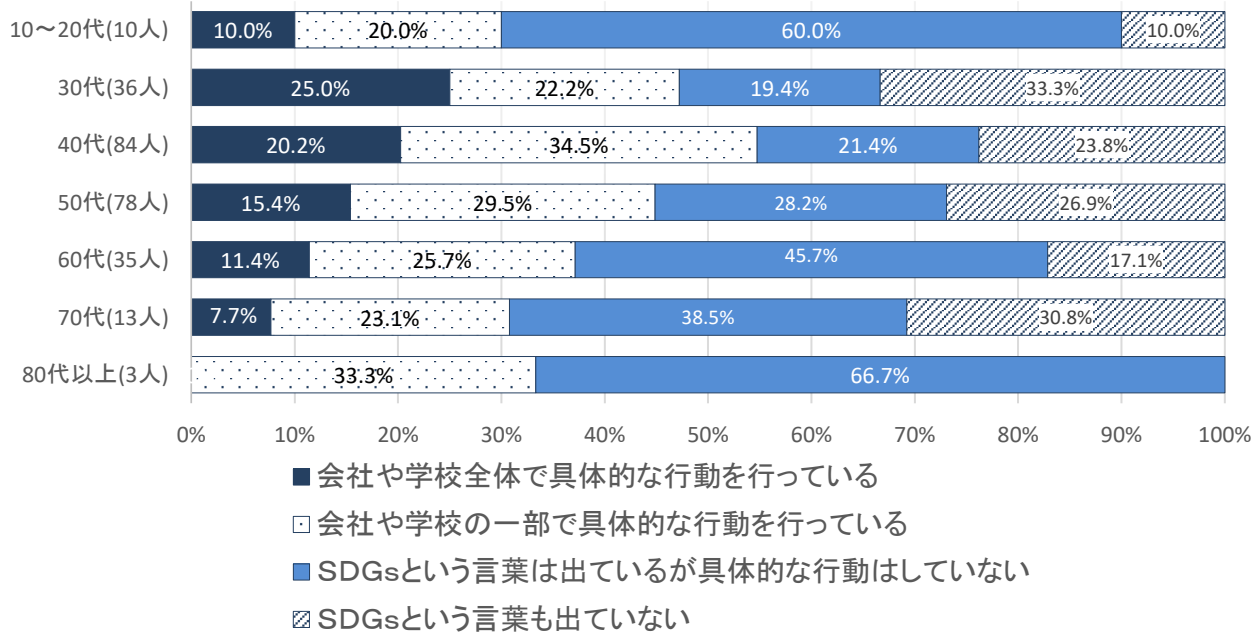
問11で「SDGsに取り組む予定はない」と回答した理由について、「SDGsに関心がないから」が最多となっている。「何をしてよいかわからない」が2番目に高いため、SDGsにつながる簡単で具体的な取り組みを紹介、PRすることが効果的だと思われる。

第4章 企業の取組みについて

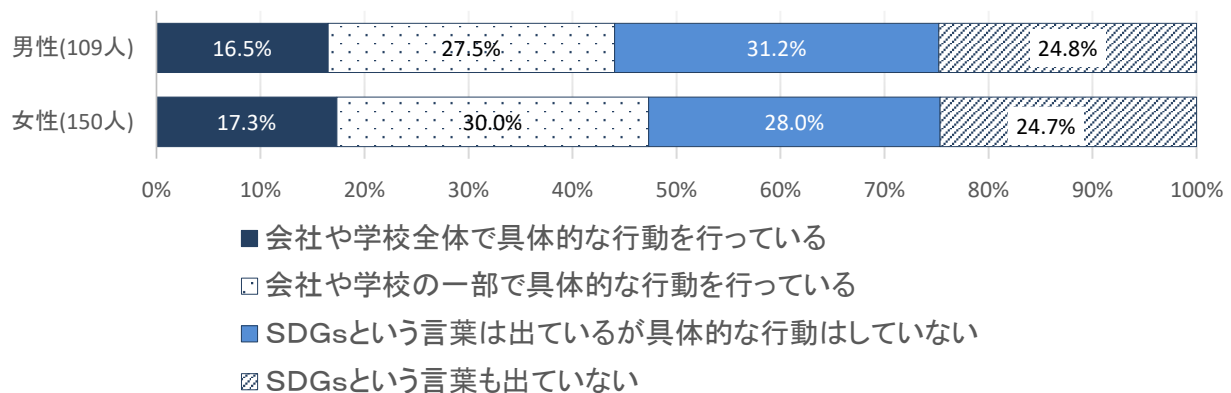
問13 あなたが所属している会社や学校でSDGsの取組みを行っていますか？（1つ選択）
 ※「会社や学校には所属していない」と回答した110人を除く。（回答者：259人）



年代別

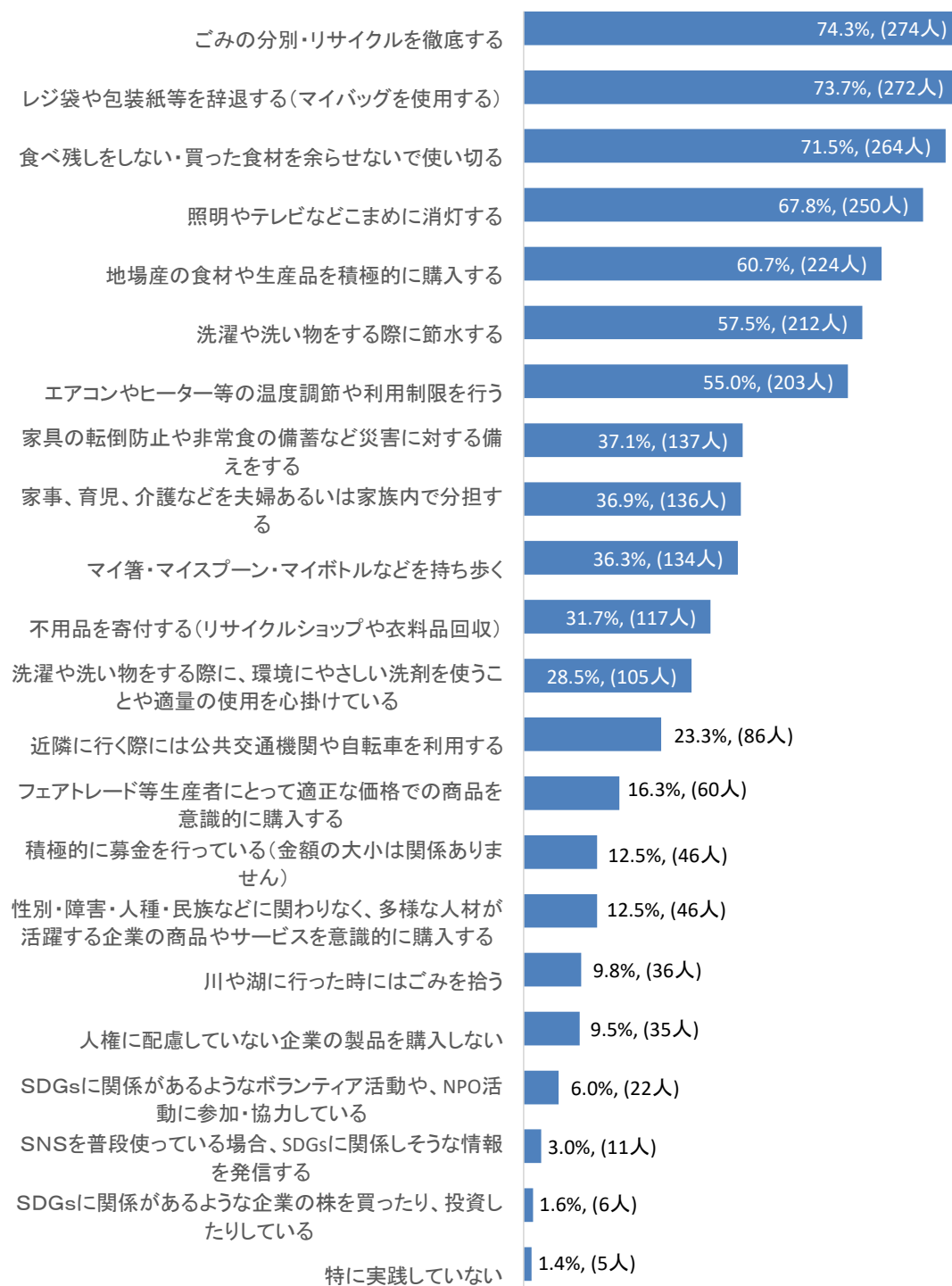


男女別



「SDGsという言葉も出ていない」と回答した割合が24.7%となっており、会社や学校におけるSDGsの取組みの先行事例を紹介したり、取り組むための手法や取り組むメリットなどをPRすることが効果的だと思われる。

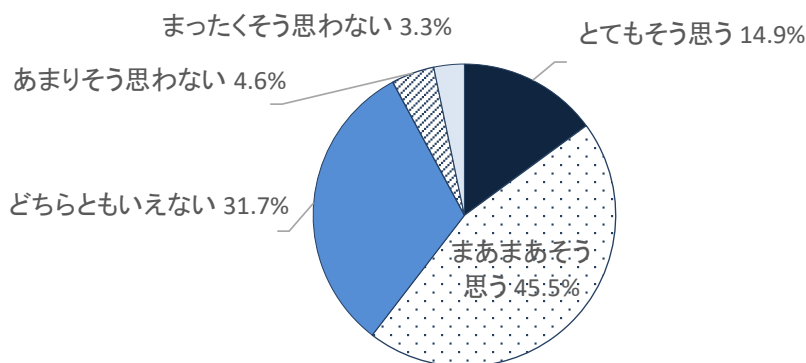
問14 次の項目はSDGs達成につながる行動ですが、あなたが日常生活で行っている行動で次にあてはまるものはありますか？(当てはまるもの全て選択)
(回答者：369人)



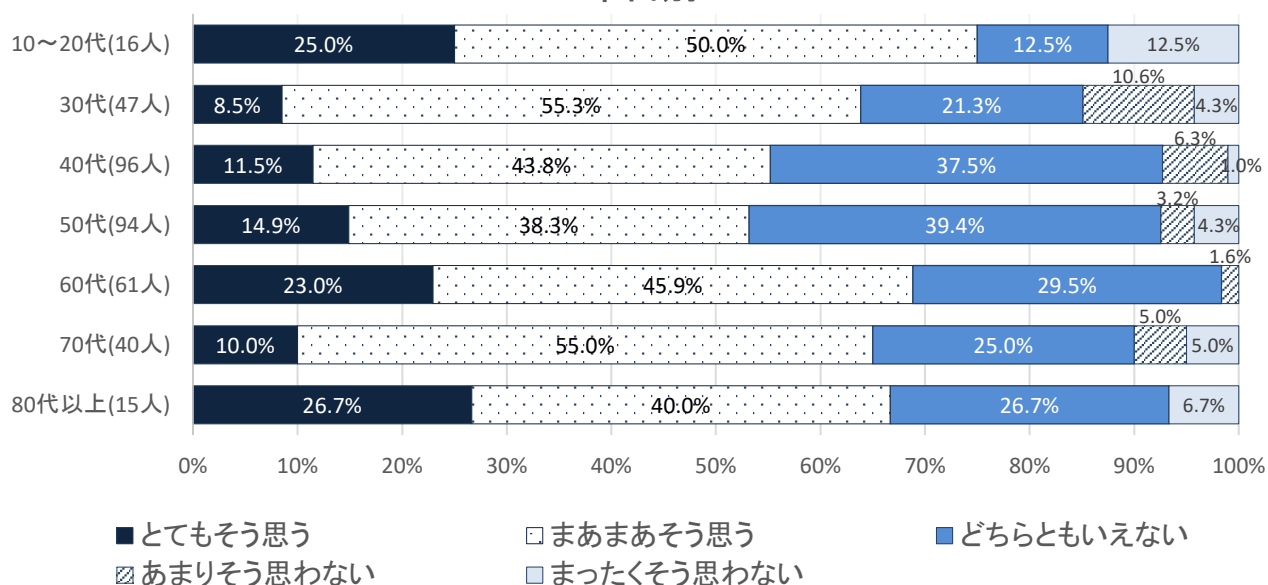
「レジ袋や包装紙を辞退する(マイバックを使用する)」など経済的にメリットがある(支出の削減に繋がる)行動を行っている人は多いが、「フェアトレード等生産者にとって適正な価格での商品を意識的に購入する」など経済的なメリットがない(支出の削減につながらない)行動を行っている人は少ない傾向にある。

問 15 SDGsの取組みをしている企業に就職したいと思えますか？あるいは周囲に就職を薦めたいと思えますか？(1つ選択)

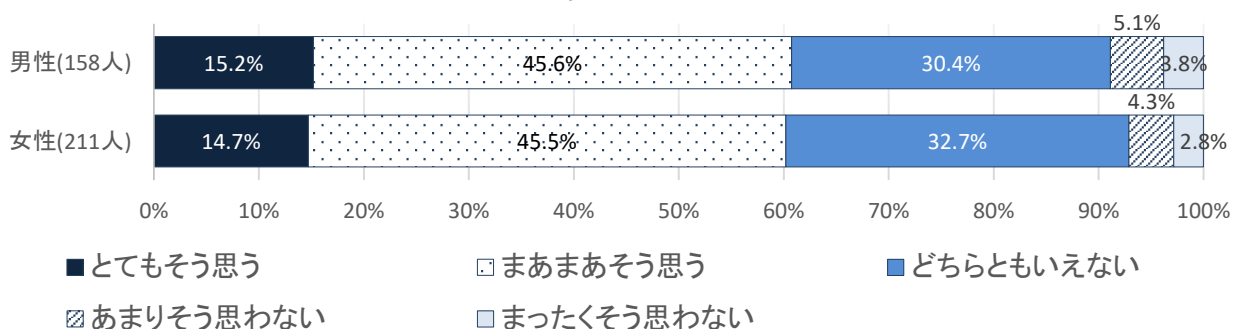
(回答者：369人)



年代別



男女別

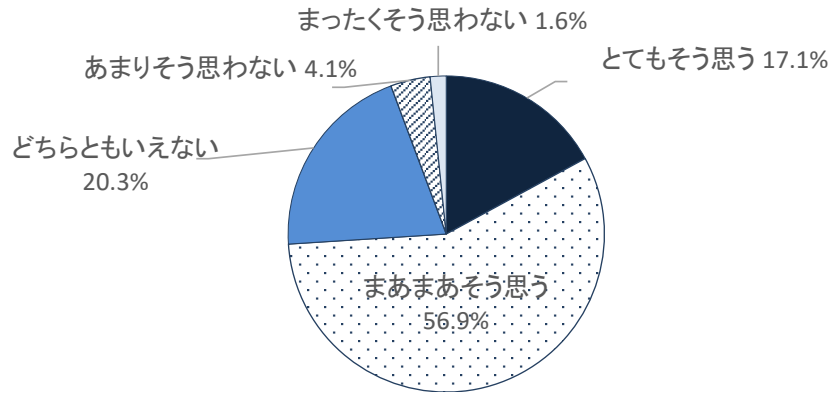


全体では、「まあまあそう思う」が45.5%で最多、次いで「どちらともいえない」31.7%、「とてもそう思う」14.9%となっている。
 10~20代では「とてもそう思う」「まあまあそう思う」の合計が75%と高くなっており、企業を選択する際の重要な指標となっていると思われる。

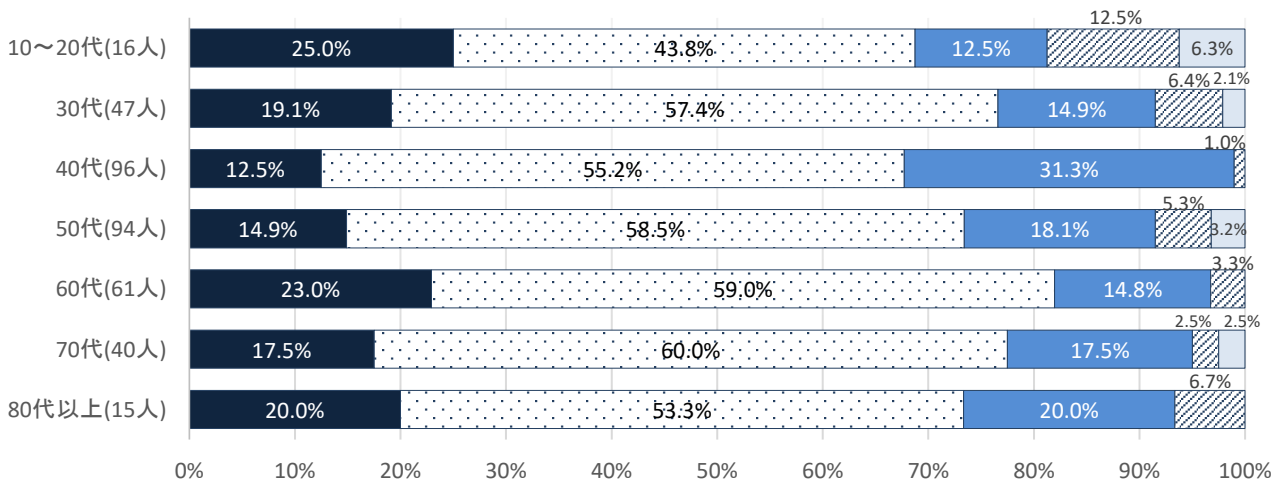
問16 SDGsの取組みをしている企業の商品やサービスを購入しようと思いますか？

(1つ選択)

(回答者：369人)

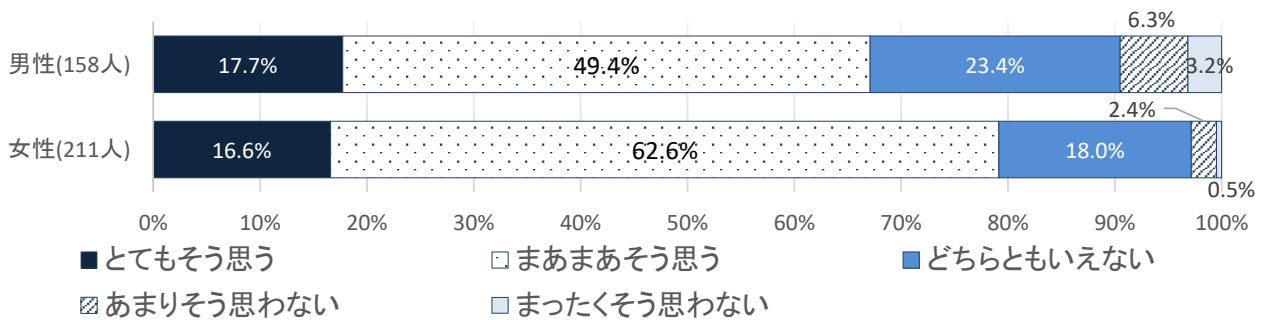


年代別



■とてもそう思う □まあまあそう思う ■どちらともいえない ▨あまりそう思わない □まったくそう思わない

男女別

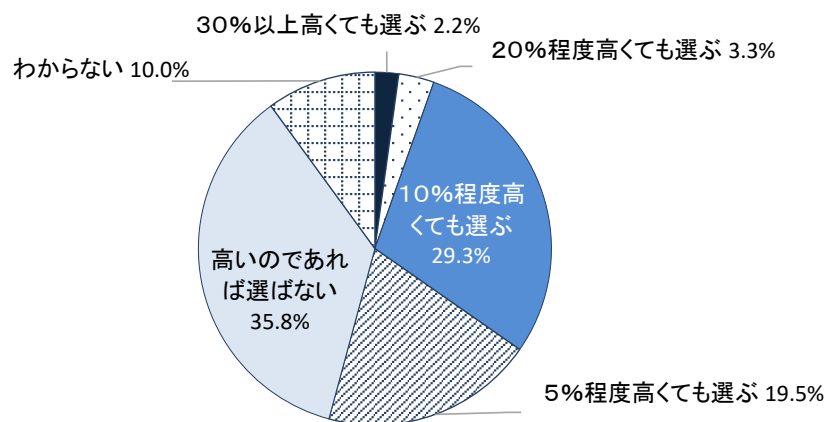


■とてもそう思う □まあまあそう思う ■どちらともいえない
▨あまりそう思わない □まったくそう思わない

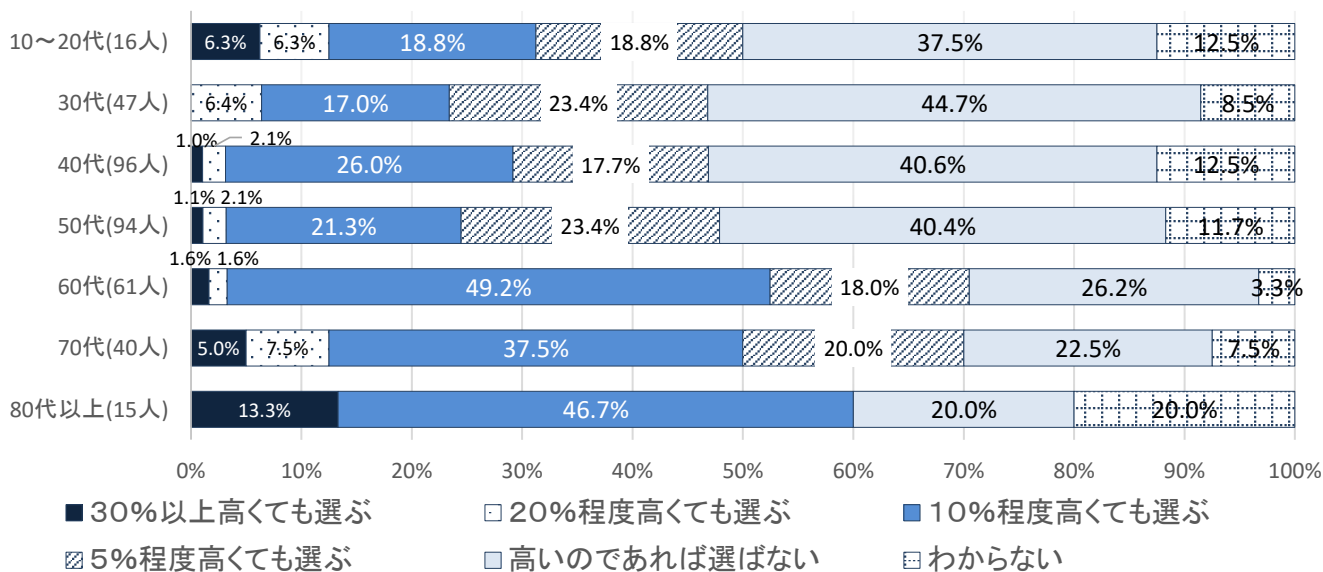
「とてもそう思う」「まあまあそう思う」割合が合計74.0%となっており、SDGsに取り組む企業の商品やサービスは消費者の購買行動にプラスの効果があることがわかる。
男女別で見ると、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」の割合の合計は、女性が男性より12.1ポイント高くなっており、女性は男性に比べSDGsに取り組む企業の商品やサービスの購入に積極的な傾向にある。

問17 SDGsの取組みを重視した商品について、価格が高くても購入しますか？
(1つ選択)

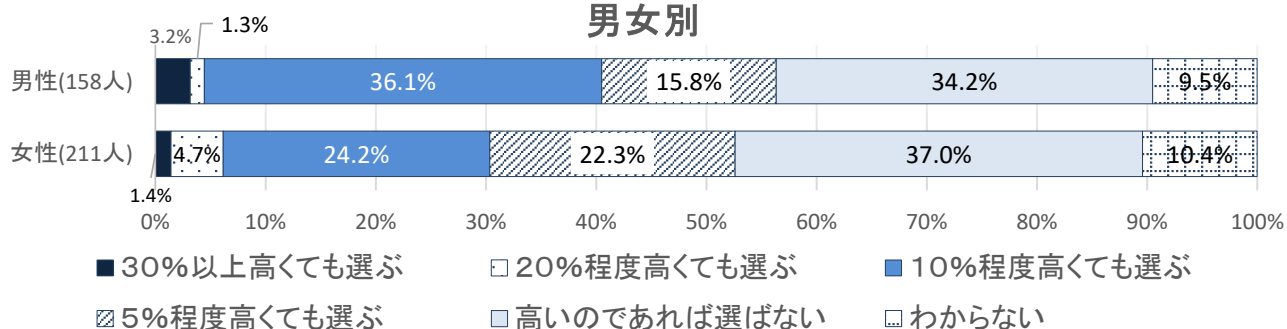
(回答者：369人)



年代別



男女別



「5%程度高くても選ぶ」「10%程度高くても選ぶ」の合計が48.8%となっており、約半数の人が、価格差が5%から10%程度の範囲内であれば、SDGsの取組みを重視した商品を購入することがわかる。価格差が20%を超えると購入する人は大きく減少している。また、価格差の程度に関わらず「高いのであれば購入しない」が35.8%と一定数存在している。
年代別では、若い年代に比べ高齢層では価格が高くても購入する割合が高い傾向にある。

その他、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

(回答者：45人)

SDGsの認識について

- ・今やテレビをつけても、CMやラジオでも聞いたりします。新聞や広報紙でも目立ってきています。(50代・男性)
- ・まだまだSDGsって?というのが本音(80代・男性)

SDGsのためにやれること、必要なこと

- ・SDGsの行動は自然に優しく無駄を出さない生活だと思います。(60代・女性)
- ・あまりにも広く深いので、まずは身近な所から取り組む事が大切に思います。(70代・女性)
- ・環境や資源が限られているので、エネルギーの使いすぎや税金の無駄遣いをなくしてほしい。(20代・女性)
- ・私達一人一人がこの意識をはっきりさせて行動することが、所属する家庭、企業、団体も行動することになる。(90代・男性)

課題に感じること

- ・物価が上がっている中で個人に経済的負担を課す取組みはすべきでない。(30代・女性)
- ・企業が掲げるものは宣伝重視のような気がして、あまり信頼していません。積極的な購入もしません。(50代・女性)
- ・SDGsは広範囲なので理想的ですが意識を常にしているのは難しい。(50代・女性)

その他

- ・SDGsの取組みを重視した商品は、そうでない商品より高くなりますか?その辺勉強したいと思いました。(40代・女性)
- ・小さい頃から教育にも取り入れてほしいです。学校で学ぶと家庭でも活動しやすいです。(40代・女性)
- ・17項目をいっぺんに行うとすれば、大変の苦勞があり、毎月1項目ずつ実施すればより進むのではと思う。(70代・男性)